

株元灌水で炭そ病をシャットアウト

はく アルミ箔チューブ

(特許出願中)

イチゴの株元に直接灌水する画期的なシステムが出来ました。



①イチゴの炭そ病をシャットアウト

イチゴの葉をめらさないから、炭そ病の感染を防ぐ。また、株元に優しい水流で灌水するので跳ね返りもなく感染の拡大を防ぐ効果が大きい。

②水やりの手間を大幅削減

水量は、1ポット当たり3分前後で約60ccの灌水をすることで、10,000株当たり約7分程度で済み、手灌水と比べて水やりの手間を $\frac{1}{10}$ に大幅に軽減する。

③チューブの温度を下げる

灌水チューブにアルミ箔を貼り付けたため夏期表面温度を黒チューブより約12℃下げる事ができ、チューブに触れたランナーが高温で焼ける事がない。

※目詰まり防止のため「ろ過器」と「簡易灌水フィルター」をご使用下さい。また、アルミ箔を貼り付けているためアブラムシやスリップスへの忌避効果があります。

この灌水システムは、空中ポットレストレー専用です。夏場(昼間)培土の温度を最大10度下げ高温多湿から苗を守る空中ポットレストレーと合わせてご使用頂くことで一層効果を発揮します。他社トレー用も特注で製作できますのでお問い合わせ下さい。

表面温度比較

測定日2007年6月4日

色別	時間	10:30	13:30
アルミ箔		39℃	42℃
黒		50℃	54℃
気温		34℃	38℃

※ご注意 このシステムは、病害虫の発生をゼロにするものではありません。病害虫防除は、登録農薬で従来通り実施して下さい。

お問い合わせ先

SRS 株式会社 阪中緑化資材

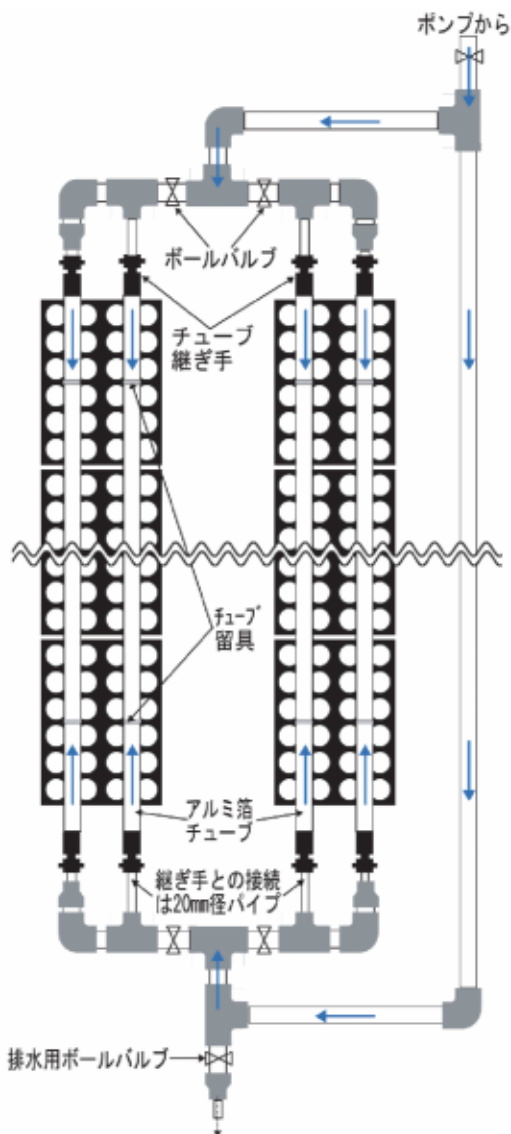
〒649-6124 和歌山県紀の川市桃山町市場269-1

TEL.0736-66-2201(代) FAX.0736-66-2172

http://www.sakanaka.co.jp E-mail srs@sakanaka.co.jp

アルミ箔チューブ設置例

7cm用チューブ敷設置例



灌水例



アルミ箔チューブ規格

規格	種類	6.3cm・7cm用	9cm用
チューブ幅		50m/m	55m/m
穴間隔		8.35cm	10.75cm
穴の径		0.3m/m×2穴	
チューブ長		200m	

←チューブ始端部・終端部ともパイプに接続して、チューブを並列にして御使用下さい。留め具は、適度な間隔でチューブを留めて下さい。

簡易灌水フィルター



※ろ過器を経由した微細ゴミによる灌水(点滴)チューブの目詰まりを防止する「簡易灌水(点滴)フィルター」を開発しました。



【装着方法】先ずフィルターを棒などで灌水チューブに挿入した状態でフィルターを継ぎ手の奥まで差し込んでから灌水チューブを固定します。

◆その他各種部品

株元灌水チューブ以外のろ過器、電磁弁(青銅製)、ボールバルブ(黄銅製)、チーズ、エルボ、ソケット類はメーカー直接仕入れのため安価で納入できます。その他何なりとお問い合わせ下さい。

実施例

